



Title	Aussagenkalkül に於ケル ”命題”ノ定義ニ就イテ, (I)
Author(s)	伊藤, 誠
Citation	全国紙上数学談話会. 1935, 58, p. 27-35
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/74128">https://doi.org/10.18910/74128</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 206. Aussagenkalkül = 於ケル "命題" の 定義 = 就イテ. (I)

伊藤 誠 (御影師範)

□ Warschau, Łukasiewicz 一派の流儀 = 従  
ツテ、 $p_1, p_2, p_3, \dots$  を以ツテ Elementare Aus-  
sagenvariablen を表ハシ、 $N, C$  を夫々 Negation  
及ビ Folgen を意味スル ein- und zweistellig  
+ Logische Operatoren トスル。今 "n 次ノ命題"  
 $A^{(n)}$  = 對シテ次ノ如キ帰納的ニ定義ヲ與ヘル。

[定義] 1)  $A^{(0)} = p_i \quad (i=1, 2, 3, \dots)$

2)  $A^{(n+1)} = NA^{(n)} \text{ 又ハ } CA^{(i)}A^{(j)} \quad (i+j=n)$

此ノ定義 = ヨツテ、"命題" 並ビ = 其ノ "次數" ト云フ  
概念ガ同時 = 規定サレル。ソシテ直グ余ルヤウ = "n 次ノ命  
題ノ次數ハ其ノ中 = 含マレテキル N 及ビ C ノ數 = 等シイ" 事  
= ナル。

斯様 = Aussagenkalkül = 於ケル n 次ノ命題 =  
其ノ次數ヲ賦與シテ考ヘルコトハ色々 + 点ヲ便利 + ヤウ = 思  
ハレル。

今ソノ一樹トシテ Wien ノ K. Menger ガ

"Eine elementare Bemerkung über die  
Struktur logischer Formeln" (Ergebnisse  
eines mathematischen Kolloquiums,

(left 3, 1932) / 中 = 於イテ述べタ下記ノ定理ヲ証明シ  
テ見ヨウ。

[K. Mengerノ定理].  $N, C, p_1, p_2, \dots$ ノ  
有限個ヲナル順列  $P$  ガーツノ命題ヲ表ハスタメノ必要充分  
條件ハ次ノミツデアル。

(I)  $P$  内ノ  $C$  ノ數ハ  $p_1, p_2, \dots$  ノ數ヨリレーツ少ナイ。

(II)  $P$  ノ任意ノ "echter Anfangsschnitt"  
内ノ  $C$  ノ數ハ  $p_1, p_2, \dots$  ノ數 = 等シイカ、又ハ  
ソレヨリ大デアル。

(III)  $P$  ノ最後ノ文字ハ  $N$  デハナイ。

Mengerノ上記ノ論文デハ、タゞ  $N, C, p_1, p_2, \dots$   
等ノ Buchstaben ノ數 = ツイテ Induktionヲ行  
ヘバヨイ、ト云フダケデ詳シイ証明ヲ與ヘテキナイ。且ツ  
"命題"モハッキリ定義シテナイノデ、少シ定理ノ意味ガ明  
瞭ヲ缺ク恐レガアル。

以下述バル証明 = 於テハ "命題"ハ先 = 掲ゲタ定義 = ヨ  
ツテ規定サレタモノト解スル。

[証明] (a) 必要條件デアルコトノ証明。

$\alpha$ ) 0次ノ命題  $A_0$  = 就テハ明ラカ。

$\beta$ )  $n$ 次マデノ命題  $A^{(i)}$  ( $i = 0, 1, 2, \dots, n$ ) = 就テ  
先ノ三ツノ條件ガ満足セラレタトスル。然ルトキハ任  
意ノ一ツノ  $A^{(n+1)}$ ヲ取ツテ考ヘルト、ソノ定義 = ヨ  
ツテ

$$(i) \quad A^{(n+1)} = NA^{(n)} \quad \text{カ又ハ}$$

$$(ii) \quad A^{(n+1)} = CA^{(i)}A^{(j)} \quad (i+j=n)$$

ノ何レカデアアル。 (i) ノ場合ニハ  $A^{(n)}$  = 就イテノ先ノ假定カ  
テ  $A^{(n+1)}$  モ亦 (I), (II), (III) ノ條件ヲ満足スル。

(ii) ノ場合ニハ  $A^{(i)}, A^{(j)}$  中ノ  $C$  ノ数ガ夫々  $p_1, p_2, \dots$   
ノ数ヨリ一ツ少ナイト云フコトカラ  $CA^{(i)}A^{(j)}$  中ノ  $C$  ノ数ハ  
矢張り  $p_1, p_2, \dots$  ノ数ヨリ一ツダケ少ナイコトナリ、  
條件 (I) ガ満足セラレル。 II ト III ノ成立ツコトモ同様ニ  
言ハレル。

コレデ必要條件デアアルコトハ分ツタ。次ニ

(証明) (b) 充分條件デアアルコトノ証明。

今  $N, C, p_1, p_2, \dots$  ノ  $m$  個カラ成ル (重複ヲ許シテ)  
一ツノ順列  $P_m$  ヲ考ヘル。

証明スルコトハ “  $P_m$  ガ (I), (II), (III) ノ條件ヲ満足ス  
レバ、夫レハ先ニ掲ゲタ定義ニヨル一ツノ命題トナル。 ” ト  
云フコトデアアル。 以下  $m$  = 就イテ *Induktion* ヲ  
行フ。

$\alpha)$   $m=1$  ノトキハ (I), (II), (III) ノ條件ヨリ  $P_1 = p_i$   
( $i=1, 2, \dots$  ノ何レカ) デアルコトヲ要スル。 ヨツ  
テ  $P_1$  ハ定義ニヨリ 0 次ノ命題トナル。

$\beta)$   $i=1, 2, \dots, m$  マデノ  $P_i$  = 就イテハ既ニ上ノコ  
トガ成立ツモノト假定スル。 扱テ  $P_{m+1}$  ハ六ノ何レカ  
ノ形ヲ取ル。

$$(i) P_{m+1} = p_i P_m$$

$$(ii) P_{m+1} = N P_m$$

$$(iii) P_{m+1} = C P_m$$

(i) の場合 = ハ  $P_{m+1}$  の条件 (II) を満足シナイカラ考ヘル必要  
ハナイ。

(ii) の場合 = ハ  $P_{m+1}$  が条件 (I), (II), (III) を満足スルコトカ  
ラ  $P_m$  が矢張り之レ等ノ条件ヲ満足シ、従ツテ假定 = ヨリ或  
次数  $n$  ( $n < m$ ) の命題ヲ表ハス。即チ

$$P_m = A^{(n)} \quad (n < m)$$

依ツテ  $P_{m+1} = N A^{(n)} = A^{(n+1)}$

トナリ  $P_{m+1}$  は  $(n+1)$  次ノ命題トナル。

(iii) の場合 = ハ  $P_m$  の最初カラ入番目ノ文字マデノ Anfangs-  
schritt  $P_m$  中ニ於ケル  $p_i$  ノ数ト  $C$  ノ数トノ差ヲ  $\delta$  入デ  
表ハセバ、 $P_{m+1}$  が条件 (I), (II), (III) を満足スル結果次ノ  
関係ヲ得ル。

$$\begin{cases} \delta_\lambda \leq 1 & (\lambda = 1, 2, \dots, m-1) \\ \delta_m = 2 \end{cases}$$

コレヨリ直チ =  $\delta_{m-1} = 1$  デアルコトが知レル。

今  $\delta_1, \delta_2, \dots, \delta_{m-1}$  ノ中最初 = 1 トナルモノヲ

$\delta_k$  トスレバ

$$\begin{cases} \delta_\lambda \leq 0, & \lambda = 1, 2, \dots, k-1 \\ \delta_k = 1 \end{cases}$$

トナリ、 $P_{m-k}$  ノ最後ノ文字ハ皆然  $N$  又ハ  $C$  トハナリ得ズ、

従ツテ  $P_{mk}$  ハ條件 (I), (II), (III) ヲ何レモ満足シ。一ツノ  
命題ヲ表ハスコトトナル。即チ

$$P_{mk} = A^{(i)} \quad (i < k)$$

$P_m$  ヲリ  $P_{mk}$  ヲ取り去ツタ残り  $P'_{mk}$  ヲ考ヘルト

$$P_{m+1} = C P_{mk} P'_{mk},$$

而シテ  $P_{m+1}$  並ビ  $P_{mk}$  が共ニ條件 (I), (II), (III) ヲ満足  
スルコトヨリ 容易ニ  $P'_{mk}$  モ亦知ルコトガ分ル。

従ツテ  $P'_{mk} = A^{(j)} \quad (j < m - k),$

依ツテ  $P_{m+1} = C A^{(i)} A^{(j)} = A^{(i+j+1)}$

トナリ、 $P_{m+1}$  が亦  $(i+j+1)$  次ノ命題トナル。

以上ニヨツテ充分條件デアル証明ガ済マシ。

上ノ証明ヲ通ツテ眺メテミルト條件 (III) ハ (I), (II) ヲ  
リ當然帰結サレルモノデアルカラ殊更等ゲルニ及バナイコ  
トガ分ル。従ツテ Menger ノ條件ハ (I), (II) ヲ充分  
デアイル。

**[2]** 次ニ有限個ノ *Elementare Aussagen-*  
*variablen* ( $p_1, p_2, \dots, p_{a_0}$ ) ヲリ形成サレル  
 $n$  次ノ命題ノ数ヲ求メテミル。

$n$  次ノ命題ノ集合ヲ  $\mathcal{O}^{(n)}$  デ表ハシ、ソノ数ヲ  $Q_n$  トス  
ル。然ルトキハ

$$\begin{cases} \mathcal{O}^{(0)} = \{p_1, p_2, \dots, p_{a_0}\} \\ \mathcal{O}^{(n+1)} = N\mathcal{O}^{(n)} + \sum_{i+j=n} C \mathcal{O}^{(i)} \mathcal{O}^{(j)} \end{cases} \quad \text{----- (1)}$$

但シコト =  $NOI^{(n)}$  ハ  $NA^{(n)}$  ナル形ノ命題ノ集合,  $COI^{(i)}OI^{(j)}$   
 ハ  $CA^{(i)}A^{(j)}$  ナル形ノ命題ノ集合ヲ表ハスモノトスル。而シ  
 テ之等ノ集合中ノ命題ハ互ニソノ形ガ異ナツテキル。例ヘバ  
 若シ

$$CA^{(i)}A^{(j)} = CA^{(i')}A^{(j')} \quad \left( \begin{array}{l} i+j = i'+j' = n, \\ i=i', j=j' \text{ ナルコトモ許ス} \end{array} \right)$$

トスレバ  $A^{(i)}A^{(j)} = A^{(i')}A^{(j')}$

従ツテ  $\square$  = 述マタ *Menger* ノ定理ニヨツテ

$$A^{(i)} = A^{(i')}$$

デナケレバナラナイ。何故ナラバ假リ =  $A^{(i)}$  ガ  $A^{(i')}$  ノ  
*echte Anfangsschnitt* デアルトスレバ條件(II) =  
 ヨリ  $A_i$  中ノ  $C$  ノ数ハ  $p_i$  ノ数ヨリ少ナクハナイ。然ルニ  $A_i$   
 ハツノ命題デアルカラ條件(I) = ヨリ、ソノ中ノ  $C$  ノ数ハ  
 $p_i$  ノ数ヨリ少クナケレバナラナイ。之レハ矛盾ス  
 ル。

依ツテ  $A^{(i)} = A^{(i')}$ ,  $A^{(j)} = A^{(j')}$  トナル。

コノコトヲ考ヘ入レルト上ノ  $OI_{n+1}$  ヲ表ハス式ヨリ直ク =

$$a_{n+1} = a_n + \sum_{i+j=n} a_i a_j \text{ ----- (2)}$$

ナル關係ヲ得ル。

今 
$$\sigma_n = \sum_{i+j=n} a_i a_j$$

トオケハ  $a_{n+1} = a_n + \sigma_n \dots \dots \dots (2)'$

コレヨリ  $a_{n+1} = a_0 + \sum_{n=0}^n \sigma_n \dots \dots \dots (3)$

コノ式 = ヨツテ例ハハ

$$a_0 = 2$$

ノ場合 = 就イテ實際計算シテミルト

$$a_1 = 6$$

$$a_2 = 30$$

$$a_3 = 186$$

等トナル。

[3] [1], [2] = 於イテハ  $C, N$  ナルニツノ *Logische Operatoren* カラ構成セラレル命題 = 就イテ述べタガ,  $R$  ツノ *Operator C* ノミヲ許ス場合 (例ハハ *Hilbert* ノ所謂 "*Positive Logik*" = 於ケルガ如キ, 又ハ *Scheffer* , "*Unverträglich*" *Operator* ヲ用ヒテ色々ノ *Assage* ヲ構成スルセウナ場合) モ全ク同様ニ論ゼラレル。此ノトキハ  $n$  次ノ命題  $A_n$  ノ定義ハ次ノ如クナル。

[定義] 1)  $A^{(0)} = p_i \quad (i=1, 2, 3, \dots)$

2)  $A^{(n+1)} = CA^{(i)}A^{(j)} \quad (i+j=n)$

又 *Frege* ノ定理ハ其ノ儘成立スルコトガナル。

( $n+1$ ) 次ノ命題ノ数  $a_{n+1}$  ハコノ場合次ノ如クナル。

$$a_{n+1} = \sum_{i+j=n} a_i a_j = \sigma_n$$

例へば  $a_0 = 2$

トスルト  $a_1 = 4$

$a_2 = 16$

$a_3 = 80$

等トナル。實際 Scheffer, Operator 7 基礎トシテ作リ得ル 2 次ノ命題ハ 16 個デアイル。

- (1)  $p_1 | p_1 | p_1 \sim \bar{p}_1 \vee p_1$
- (2)  $p_1 | p_1 | p_2 \sim (p_1 \rightarrow p_2)$
- (3)  $p_1 | p_2 | p_1 \sim (p_1 \rightarrow p_2)$
- (4)  $p_1 | p_2 | p_2 \sim (p_1 \rightarrow p_2)$
- (5)  $p_2 | p_1 | p_1 \sim (p_2 \rightarrow p_1)$
- (6)  $p_2 | p_1 | p_2 \sim (p_2 \rightarrow p_1)$
- (7)  $p_2 | p_2 | p_1 \sim (p_2 \rightarrow p_1)$
- (8)  $p_2 | p_2 | p_2 \sim \bar{p}_2 \vee p_2$
- (9)  $p_1 | p_1 | \bar{p}_1 \sim p_1 \vee \bar{p}_1$
- (10)  $p_1 | p_1 | p_2 \sim (p_2 \rightarrow p_1)$
- (11)  $p_1 | p_2 | p_1 \sim (p_1 \rightarrow p_2)$
- (12)  $p_1 | p_2 | p_2 \sim (p_2 \rightarrow p_1)$
- (13)  $p_2 | p_1 | p_1 \sim (p_1 \rightarrow p_2)$
- (14)  $p_2 | p_1 | p_2 \sim (p_2 \rightarrow p_1)$
- (15)  $p_2 | p_2 | p_1 \sim (p_1 \rightarrow p_2)$
- (16)  $p_2 | p_2 | p_2 \sim p_2 \vee \bar{p}_2$

~ノ右ニ並記シタ式ハ zweiwertiger Aussagen

kalkül = 於ケル äquivalent + Aussage

デアツテ、之等 = ヲツテ見ルト

(1) ~ (8) ~ (9) ~ (16), (2) ~ (3) ~ (4) ~ (11) ~ (13) ~ (15),  
(5) ~ (6) ~ (7) ~ (10) ~ (12) ~ (14)

トナリ、只三ツノ Aussagefunktion 7 與ヘルノ  
ミデアルコトが知ラレル。

又  $\alpha^{(0)}$ ,  $\alpha^{(1)}$  ハ夫々

$$\alpha^{(0)} = \{p_1, p_2\},$$

$$\alpha^{(1)} = \left\{ \begin{array}{l} p_1 | p_1 \sim \bar{p}_1 \vee p_1, p_1 | p_2 \sim \bar{p}_1 \vee \bar{p}_2, \\ p_2 | p_1 \sim \bar{p}_1 \vee \bar{p}_2, p_2 | p_2 \sim p_2 \vee \bar{p}_2 \end{array} \right\}$$

デアルカラ、結局  $p_1, p_2$  ノ二個ノ Elementare Aussagevariablen カラ構成サレル異ナツタ Aussagefunktion ノ数ハ zweiwertiger A.K. ノ場合 = ハ只次ノ 6 個ノミデアル。

$$p_1 \vee \bar{p}_1, p_1, p_2, \bar{p}_1 \vee p_2, p_1 \vee \bar{p}_2, \bar{p}_1 \vee \bar{p}_2.$$

然ル = 實際ハ  $p_1, p_2$  ノ Argument トスル Aussagefunktion ハ  $2^2 = 16$  個存在スルカラ、上記以外 10 個ノ A.-funktion ハ 3 個又ハソレ以上ノ Scheffer Operator ヲ用ヒナケレバ定義シ得ナイコトが分ル。

—(1935, 9, 12)—